

令和8年度 南林間小学校グランドデザイン

A 特活行事部＜自主性を持ってよりよい学校生活を送るために＞

- 委員会の仕事内容の充実を図り、様々な活動を通して、自己表現する機会を作っていく
- なかよし集会や異学年交流を大切にする
- 委員会掲示板を設け、委員会紹介で表現して全校児童に活動の内容を知らせ充実を図る
- 行事の内容を吟味し、よりよいものにする
- 運営委員会や代表委員会の活動を充実させる

【学校教育目標】

- ・（知）自ら学び、考える子（知育）
- ・（情）思いやりがあり、豊かな心をもつ子
- ・（徳）正しいと思ったことを行動にうつす子
- ・（体）丈夫な体づくりにつとめる子

B 児童支援部＜共生の心を育むために＞

- あいさつは人と人をつなぐものであることを意識できるよう働きかけをする
- 相手の気持ちを考え、思いやりのある行動をとり、学校が共生の場であることを意識させていくために、継続的な活動として毎月始めに「おもいやり日（腕章）の活動とおもいやりの日のメッセージ（運営委員会）」を行っていく。
- 児童会、委員会と連携し、あいさつ運動を推進する
- 「みんなのやくそく」の確認の徹底を図る
- 支援会議、ケース会議の充実を図る
- 特別支援教育・国際教育の理解を深める
- 子ども一人ひとりの良さや可能性をのばすため、職員による情報の共有化を図る

【学校経営方針】

C 教科研究部

＜能動的に学び

実践する子供を育成するために＞

- 語彙力を高める
- 基礎基本の定着を図る
- 主体的に友だちとかかわり、問題解決力の育成を図る
- 辞書を活用する機会を増やす
- 学校図書館の利用を充実させる
- ICTの活用を計画的に行い、情報活用能力の活用の向上を図る

- ・安全で安心な学校
- ・公正公平な態度
- ・信頼される教職員と学校
- ・豊かな人生につながる力の育成
- ・温かく信頼しあえる職場

【重点目標】

- ◎思いやりの心で
笑顔いっぱいの学校にしよう♪
- ・感謝の気持ちを大切に
笑顔いっぱいの学校にしよう♪

D 総務部＜支え合う環境づくり＞

～自ら考えて行動する児童を育成するために～

- よりよい教育活動となるよう、地域の教育力を活用する
- 1年間の見通しをもって計画を立て、運営する
- すすんで行事に取り組み、やり遂げる力を育てる
- 地域や保護者に教育活動を広く発信する
- 教科・学年と関連づけて、学校行事の目的を明確にする
- 学校評価を行い、学校経営の改善に生かす